

みんなが動けば きっとできる!!

保育政策・ 基準の大転換



大阪保育研究所
大阪保育運動連絡会

😊 計算してみよう

① あなたの園の子どもの人数を下記の表へ記入ください

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
子どもの人数	A	B	C	D	E	F	

② ここでもう1度、国の配置基準のおさらいです

年齢	0歳	1・2歳	3歳	4.5歳
子どもの人数	3:1	6:1	20:1	30:1

※ここでの注意事項は1・2歳と4・5歳の考え方です。1歳と2歳それぞれ6:1ではなく1歳と2歳の子ども的人数を足して6:1です。4・5歳も同様の考え方です。

③ では具体的に国の基準に当てはめてみましょう ※四捨五入部2で切り捨て

●0歳は $\frac{A}{3} = G$

●1・2歳は $\frac{A + G}{6} = H$

●3歳は $\frac{D}{20} = I$

●4・5歳は $\frac{E + F}{30} = J$

④ $G + H + I + J = K$

⑤ K の人数を四捨五入してください L

⑥ L の数字があなたの園の配置基準上の人数です

実際の現場には1.4~1.9倍の保育士がいると思います。

しかし、公定価格には L の人数の人員費しか含まれません。

それをみんなで分け合うから抜本的にお給料があがらないのです。